

令和4年度 大船渡市市民活動支援事業活動報告

団体名 けせんシネマ事務局

事業名 けせんシネマ

事業概要 市民が記録した気仙地区(大船渡・陸前高田・住田)の昭和時代の8mmフィルムをデジタル化した地域映画「おもかげ」を通して、世代を超えて、市民が交流する場を作ることで、これからの地域を考えるきっかけづくりとしていく。映画を市民に直接届けるため、大船渡高校3年生の選択授業「表現」で映画監督三好大輔氏の講義を14回行った。授業の中では、地域映画のつくり方を学びながら、上映会と座談会を計画。自主性を重んじながら当日の上映の運営までを行った。

実施効果

世代間の交流が薄れている中、30年～50年前の大船渡の日常を映した地域映画を鑑賞し、世代を超えた対話の時間をつくることで、自分たちが暮らしている大船渡への理解と郷土愛が深まる時間となった。リアルに出会い言葉を交わすことで、これからの大船渡を考えるきっかけとして大きな効果があった。



今後の展開

地域映画「おもかげ」は地域の宝物であるので、一人でも多くの市民に見ていただくために、上映やDVD化などを考えている。

市民のみなさまへ

大船渡に暮らしてきた方々の日常を映した映画は、これからの時代を担う若者にとっても大切な記録です。上映会や座談会を通して生まれるコミュニケーションを通して、古いものを残していくことの意味を今一度考えてもらえたらと思います。

令和4年度 大船渡市市民活動支援事業活動報告



オンラインの授業の様子（大船渡高校）



映画監督の三好大輔氏



8月6日 コミュニティスペースでPR映像を上映



大船渡祭りで配布した「おもかげ」のウチワ

地域映画プロジェクト「けせんシネマ」

昭和時代に記録された8ミリフィルムをもとに、大船渡高校生と地域の住民が共創する地域映画プロジェクト「けせんシネマ」。大船渡市、陸前高田市、住田町の皆さんから映像を収集し、つなぎ合わせて完成させたのが地域映画「おもかげ」です。

今に「いきる」故郷の記憶。

大船渡市の大船渡高校校長の提議が制作のきっかけとなった地域映画「おもかげ」の上映会（実行委員：9月25日、大船渡市のリアスホール）で開かれた。映画は、気仙地域の住民から提供された昭和30年代の8ミリフィルム映像をまとめたもの。地域が上げられた半世紀前の映像に、中高生は自身の思い出を映し、若き世代は故郷への愛着をみせた。

スタッフ

2021年度参加者
 大船渡高校 菅野 真
 久保田 寛
 小林 友香
 今野 ことばる
 佐藤 未希
 田代 陽花
 千原 千夏
 戸 翔
 二階堂 英志
 及川 美都子
 小森 尚志
 小林 悠希
 三田 由人

2022年度参加者
 大船渡高校 菅野 真
 久保田 寛
 小林 友香
 今野 ことばる
 佐藤 未希
 田代 陽花
 千原 千夏
 戸 翔
 二階堂 英志
 及川 美都子
 小森 尚志
 小林 悠希
 三田 由人

けせんシネマ事務局
 株式会社岩手日報社
 協力：富士フィルム株式会社、クニミネ株式会社、フィルム修復、NPO法人映画保存協会、デジタル美術館、清水 慧、野崎 一幸、撮影協力：大船渡スタジオ、千葉 光浩、録音協力：大船渡市民文化会館、アスホール、インタビュー：教員、川内 有緒、ポスター：教員、黒川 真良、監修：佐藤 真、撮影：三好 大輔、制作：株式会社、アパックスピクチャーズ、監督：三好 大輔、製作：けせんシネマ、脚本：真田

制作のあゆみ

地域映画プロジェクト「けせんシネマ」は、2021年10月に大船渡市、陸前高田市、住田町の3市町で、昭和30年代の8ミリフィルム映像を収集し、つなぎ合わせて完成させたのが地域映画「おもかげ」です。

「おもかげ」待望の上映会

上映は、9月25日、大船渡市のリアスホールで開催された。映画は、気仙地域の住民から提供された昭和30年代の8ミリフィルム映像をまとめたもの。地域が上げられた半世紀前の映像に、中高生は自身の思い出を映し、若き世代は故郷への愛着をみせた。

市民におまかせ

上映は、9月25日、大船渡市のリアスホールで開催された。映画は、気仙地域の住民から提供された昭和30年代の8ミリフィルム映像をまとめたもの。地域が上げられた半世紀前の映像に、中高生は自身の思い出を映し、若き世代は故郷への愛着をみせた。

「おもかげ」の価値

昭和30年代を中心に、大船渡市、陸前高田市、住田町の3市町で、昭和30年代の8ミリフィルム映像を収集し、つなぎ合わせて完成させたのが地域映画「おもかげ」です。

2022年9月30日掲載
岩手日報